



①安心して講座を
購入してもらえる

②オススの講師として
外部評価がえられる

③ユーデミーが
勝手に宣伝してくれる

手持ちのネタを
「売れる教材」
に進化させるコツ
教材作り5ステップ

1



あなたの「手持ちのネタ」は何ですか？

2



あなたが作りたい「教材」は何ですか？

教材をひと言で表現する

3



あなたの教材にニーズはありますか？

本当に売れるのか？

4



「売れる教材」チェックリスト

「ARCS」にあてはめてみよう

5

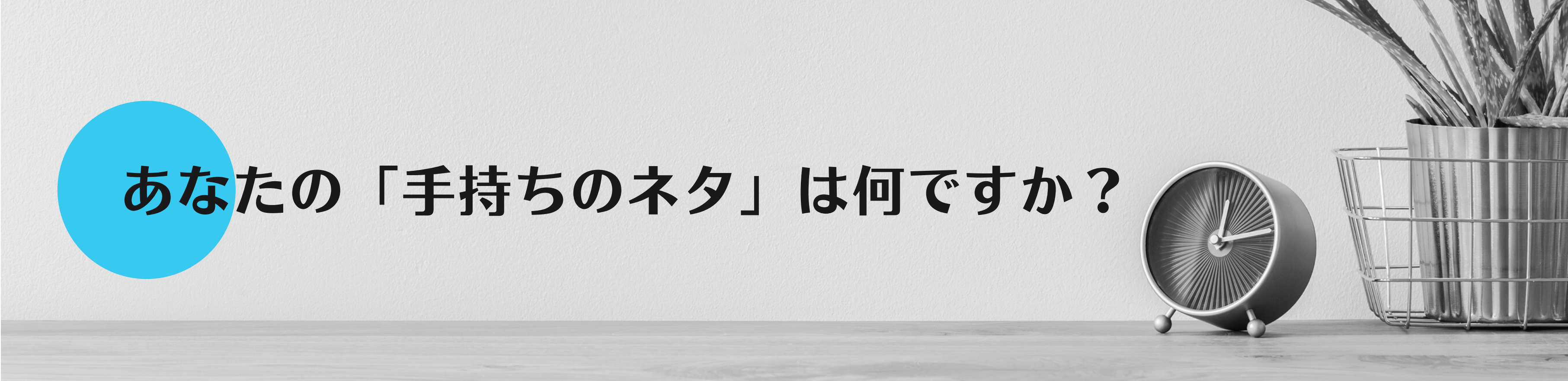


どんな形で売りますか？

教材の仕様を決めよう！



あなたの「手持ちのネタ」は何ですか？



1. あなたの「手持ちのネタ」を、小学3年生の娘にわかるよう、ひと言でまとめて下さい

例) みるみるお金が貯められるようになる、家計簿のつけ方

10歳が理解できる「ネタ」にしよう！

あなたが作りたい「教材」は何ですか？

教材作り5ステップ②



- 本当はAになりたいのに
- Bしかできない
- Cのために
- Dを使って
- Eになれる講座です。

あなたが作りたい「教材」は何ですか？

教材作り5ステップ②

A

ターゲットの目標

ターゲットの目指す
変化・未来像

B

ターゲットの不満

本当はこうやりた
いのにかこうしかで
きない・パフォー
マンスギャップ
を埋める教材が
欲しい

C

ターゲット

教材を使う人
教材を購入する人

D

プラットフォーム

ユーデミー
(Udemy)
ティーチャブル
(Teachable)

E

ゴール

ターゲットの目指
す変化・未来像が
実現する

あなたの教材にニーズはありますか？

教材作り5ステップ③

ニーズの種類

違い

スタンダードな
ものとの違いから
生まれるニーズ

感覚

何を求めている
のか、感覚的観測
からなるニーズ

流行

需要と供給
マーケットや
流行依存のニーズ

将来性

将来的なニーズ

あなたの教材にニーズはありますか？

教材作り5ステップ③

売り出してみないと
わからない！



A

Attention

注意



R

Relevance

関連性



C

Confidence

自信



S

Satisfaction

満足

「売れる教材」チェックリスト

教材作り5ステップ④

「売れる教材」チェックリスト

「ARCS」にあてはめてみよう

楽しそう！

オープニングに工夫する

素朴な疑問・謎かけ

エピソード

教材全体の構造が分かる

短くまとめる

Attention

注意

面白そう

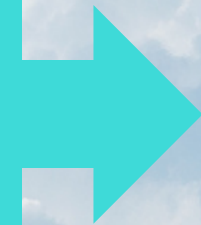
「売れる教材」チェックリスト

「ARCS」にあてはめてみよう

Relevance

関連性

役立ちそう



関 心

自分なりの言葉

例え話や比喩を使う

説明

課題設定

「売れる教材」チェックリスト

「ARCS」にあてはめてみよう

ゴールとのギャップを確かめる

目標

チェック

過去の自分との比較

小さな成功

チェックリストを用意する

Confidence

自信

やればできそう

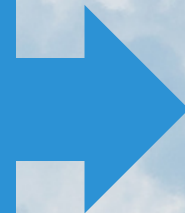
「売れる教材」チェックリスト

「ARCS」にあてはめてみよう

Satisfaction

満足

やってよかった



結果

生かすチャンス

誰かに教える

プレゼント(認定証等)

一貫性

どんな形で売りますか？

教材の仕様を決めよう！

- ⑤ リリース
- ④ 手直しの必要性を感じたら・・・
- ③ 補助教材をデザインする
- ② カリキュラム（各単元）をデザインする
- ① コースの全体像をデザインする

